

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

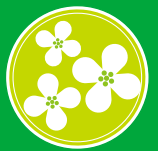
2012
平成24年

1.15

火祭りで願う
一年の平安!

目次

「しみんの広場」	2
2012ニューイヤー駅伝	
緑のカーテンコンテスト	
避難所宿泊体験	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
ちはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- ニューイヤー駅伝 2ページ
- 緑のカーテン・避難所宿泊体験 3ページ
- 地域の話（若戸校区） 4ページ
- 市民活動を応援するページ 5ページ

市民発!

声援を受け健闘！トヨタ駅伝チーム

第56回全日本実業団対抗駅伝競走大会「ニューイヤー駅伝」

今年も元日に、全国の実業団日本一を決める『ニューイヤー駅伝』が、群馬県庁を発着とする7区間（100km）で開催されました。昨年の初優勝に続き、大会連覇を目指したトヨタ自動車（株）陸上長距離部（田原工場所属）でしたが、健闘も及ばず今回は4位という結果でした。チームから応援した地域の皆さんへ、お礼と感謝の声が寄せられました。



③3区
宮脇千博選手



⑦7区
高林祐介選手



④4区
尾田賢典選手



②2区
ジョン・ツォ選手



①1区
松本賢太選手



⑥6区
大石港与選手



⑤5区
熊本剛選手

▼大会結果

総合4位 4時間51分33秒

①12.3km	36分00秒
②8.3km	22分59秒
③13.6km	37分52秒 (区間賞・区間新記録)
④22.0km	1時間5分21秒
⑤15.8km	47分12秒
⑥12.5km	36分53秒
⑦15.5km	45分16秒 (区間賞)

◎佐藤監督からのメッセージ

皆さんこんにちは。監督の佐藤敏信です。ニューイヤー駅伝をはじめ、年間を通して陸上長距離部へのご声援ありがとうございました。連覇に挑んだ今回の大会は、1区から7区まで、チーム一丸となって戦いましたが、4位という結果に終わりました。皆さんの声援に比べれば残念です。今年は、オリンピックイヤーですので、日本代表選手を輩出できるように、また来年のニューイヤー駅伝の優勝に向けて、声援に比べられるよう再び頑張ります。



次の目標は、2月5日（日）に開催される名岐駅伝（午前11時スタート…大垣城ホール前・中日新聞社前）で優勝することです。今後とも熱い応援をよろしくお願いします。



●現地で声援を送った約250名の大応援団



●2階まで見事に伸びたゴーヤ



●受賞を喜ぶ1年生の生徒たち



●園舎の前面につくられた緑のカーテン



●中心になって世話をした園児たち

伊 良湖岬中学校でゴーヤの栽培を始めたのは3年前からです。毎年、栽培方法について工夫を重ね、今年度は1年生と先生が中心となり、ゴーヤの世話をしました。教室に光を取り入れるため、ツルの密集を防いだり、2階まで伸びるよう支柱を立てたりするなど、これまでの経験を生かしてすばらしい緑のカーテンを作ることになりました。生徒たちは、楽しく水やりなどに取り組み、環境学習の一助にもなりました。来年度もチャレンジして、最優秀賞を狙いたいと意気込んでいます。

赤 羽根保育園では、園児が保育士と一緒に、苗植えから水やり、ゴーヤの収穫まで行いました。緑のカーテンの木陰は風も涼しく、お茶タイムにはテラスでおやつを食べべて楽しみました。また、昨年度に収穫しておいたゴーヤの種をまき、園で苗も育成しました。保護者に苗を配布する「緑のカーテンリレー」も行い、赤羽根保育園から地域へと「緑の輪」が広がっています。緑のカーテン事業は、節電効果だけでなく、園児たちが地球温暖化防止について学ぶ、よい機会となりました。

平成23年12月15日に開催された愛知県主催の「あいち緑のカーテンコンテスト」表彰式で、**伊良湖岬中学校が昨年度に引き続き最優秀賞を、赤羽根保育園が優秀賞を受賞しました。**



▲体育館で寝起きをともにした児童たち。ダンボールで布団を敷くためのスペースを確保したり、市販のダンボール製のベッドなどの組み立て方を学んだりしました

田 原中部小学校で、12月2日(金)・3日(土)に、4年生の児童67名が「災害時の避難所宿泊体験」を行いました。これは、災害時の避難所暮らしを想定し、寝床や食事の準備などを助け合って行う1泊2日の学習活動です。食事は非常食、ベッドはダンボールという暮らしを体験した児童たちは、「避難所での生活はとても厳しい。お互いに協力しないと何もしない」などと感想を話していました。

投稿

田原中部小学校

避難所宿泊体験



●広報サポーター「めだか」ツイッターなう♪

●ID「Koho Tahara」●ツイッターアドレス <http://twitter.com/#!/KohoTahara>



▲力を合わせて地引綱(校区ふれあいまつり)



▲みんなで海岸清掃(校区ふれあいまつり)

地域の話題

若戸校区

ふれあいのまちづくり

「人と自然と産業が共生する豊かで活力あるまち」
を目標に地域づくりを進めている

若戸校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



昔 ながらの田舎の良さが受け継がれている若戸校区では、日

ごろから、人と人とのふれあいが盛んです。これは、どこの地区にも負けない長所だと自負しています。

今年度は、地域の一大イベントとして定着した「市民館まつり」をはじめとして、平成22年度から始めた「校区ふれあいまつり」、若戸小学校の「ゆりのき祭り」など、さまざまな行事を行いました。

こうした行事でのふれあいを通じて、子どもたちに、おじいさん・おばあさんを大切にするやさしい心や、お父さん・お母さんを尊敬する穏やかな心が育まれることを期待しています。また、隣近所の絆も一層高まり、災害時などの助け合いに必ず役立つと確信しています。

ふれあいを育む「まつり」

昨年10月1日に、池尻海岸で「校区ふれあいまつり」を開催しました。まつりでは、地域住民や親子が一緒になって、海岸清掃、ドッジボール、地引綱などを行い、気持ちのいい海風の中で、お互いの絆を確かめました。

また、10月30日には、若戸市民館で「市民館まつり」を開催しました。

芸能発表会、絵画・書道・生け花などの作品展示のほか、各種団体によるうどんやクレープ、みたらし団子などの屋台が出店し、多くの人でにぎわいました。中でも、小さな子どもを対象とした輪投げやスーパールボールすくい、射的などのゲームは大盛況となりました。



▲大人気のスーパーボールすくい(市民館まつり)



▲多目的ホールの芸能発表会(市民館まつり)

若戸校区が目指す、「安全安心に暮らせるまち」「自然豊かなまち」「活力あるまち」は、人と人とのふれあい、互いの尊重から自然に実現されていくものだと思います。これからさまざまなイベントを通して、ふれあいの輪を広げる取り組みを行っていきます。



市民活動を応援するページ



市民活動ニュース

イベントのご案内

第9回あつみNPOのつどい

～ふれあい たすけあい 感謝の心～

H23 市民協働まちづくり補助金採択事業

人と人とのつながりや、家族・友人・地域との「絆」の大切さをテーマに、市民活動でできることを考えます。

日 時 2月5日(日) 10:00～16:00

場 所 渥美文化会館(多目的ホール・ラウンジほか)

内 容 ●基調講演 13:30～15:00
「私の出会ったありがとう」吉川精一氏(元NHKアナウンサー)
●パネル展示・ステージ発表・模擬店・バザーなど

主 催 あつみNPOネットワーク(ANN)

問い合わせ ANN事務局 ☎090-9226-1977(北原) ☎FAX 32局 3963(森下)



共生のまちフォーラムⅢ ～共生～

H23 市民協働まちづくり補助金採択事業

障がいのある方々が抱える「生きづらさ」の解決に必要なものについて、気づき、つながり、「共生のまち」のため、フォーラムを開催します。

日 時 2月11日(土・祝) 13:30～17:00

場 所 田原文化会館(文化ホール)

内 容 ●記念講演 13:30～15:00
「障害のある人もない人も共に暮らしやすい時代に」
野澤和弘氏(毎日新聞社論説委員)
●シンポジウム 15:00～17:00

参加費 500円(高校生以上)

主催・問い合わせ 「共生のまち」田原市を考える会(代表・三浦) ☎23局 3812 FAX 23局 3110



第5回 しみんのひろば

H23 市民提案型(テーマ提示型)委託事業

～手と手をつなごう! みんなで築く市民活動の輪～

市内で活動する市民、NPO、ボランティアなどの交流や活動の広がりを目指す、市民による市民のためのイベントです。

日 時 2月26日(日) 10:00～15:00

場 所 田原文化会館(多目的ホールほか)

内 容 ●講演会 10:15～11:15
「音楽トーク 遊んで学ぶ環境保護」
鉄崎幹人氏(タレント・ラジオパーソナリティー)
●パネル展示・模擬店・スタンプラリー・ステージ発表など

主催・問い合わせ しみんのひろば運営委員会 ☎090-8336-7345(代表:伊藤)



田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

□ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ: ☎22局 1111(内線812) ※ 開設時間のみ FAX 23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールリポート

SCHOOL REPORT 42
学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での理科学習やスクールキャンプの様子、伝統劇で魅力ある学校づくりに取り組む様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原東部小学校「理科学習」

太陽光パネルで環境学習

田原東部小学校では、昨年度、「特色ある学校づくり事業」で、観察池に太陽光パネルと噴水を設置しました。太陽光パネルが光を電気に変え、その電気で噴水が噴き上がります。

3年理科「光のはたらきを調べよう」の学習では、子どもたちから「太陽光パネルに光をたくさん当てると、噴水をもっと高く上げられるのでは？」という意見が出されました。「もっと光を当てれば、もっと上がるかな？」と、楽しみながら学習を進める子どもたち。これらの体験が、環境や自然エネルギーの学習につながっています。



▲太陽光パネルに鏡で光を当てる子どもたち

伊良湖小学校「スクールキャンプ」

子どもたちの絆を深める思い出づくり



▲親子でファイヤーダンス

伊良湖小学校では、長く続いている行事に「スクールキャンプ」があります。「わしが小学生のときもあったよ」と、地域の方によく言われます。山や海などの大自然に囲まれた伊良湖小学校は、天然のキャンプ場といってもいいくらいで、キャンプをするのに適しています。昨年7月のキャンプでは、さまざまな人と交流ができるように縦割り班で行動しました。高学年が低学年の世話をするなど、ほほえましい光景が見られました。キャンプファイヤーには親子で参加し、絆を強くするよい機会となっています。

田原中部小学校「魅力ある学校づくり」

豊かな心を育む伝統の「華山劇」

田原中部小学校には、80年以上も続く『華山劇』があります。郷土の偉人渡辺華山の少年時代を劇にしたもので、学芸会では『板橋の別れ』と『立志』の2つを上演しています。

平成22年度に、「魅力ある学校づくりプロジェクト事業」で、華山劇を後世に継承するため『板橋の別れ』の背景画をデジタルデータにし、新しい背景幕を作製しました。そのおかげで、田原市民まつりでも『板橋の別れ』を上演することができ、市内外の多くの方々に華山劇を観ていただきました。これからは華山劇を通じて、子どもたちが郷土の偉人に学び、強く、たくましく育つことを願っています。



▲華山劇『板橋の別れ』の一場面



▲美しい景色を背に、力強い走りを見せる選手たち。優勝チームは次のとおり
【一般の部(男子)】中京大学A 【高校の部(男子)】豊川高校B
【女子の部】中京大中京高校A(5区走者:清田真央さん[中山町])



▲しめ縄づくりを行う参加者。手づくりだと愛着がわきますね



▲特別室で演奏する田原市吹奏楽団の皆さん

12月18日(日)

師走の半島を
駆け抜ける！

渥美半島駅伝競走大会が開催され、全国各地から100チームが出場しました。伊良湖岬を起点に、女子は赤羽根市民センター、男子は豊橋技術科学大学のゴールを目指すこの大会は今年で64回目。沿道からの声援に後押しされ、選手たちは渥美半島を全力で駆け抜けました。

12月18日(日)

手づくりの
個性を楽しむ

身の回りのあらゆるものを手づくりして、いた昔の人たちの習慣にふれる**しめ縄づくり講座**が吉胡貝塚資料館で開催されました。参加した18名は、わらを巻き上げたり、紙垂を付けたたりして、自分だけの見事なしめ縄を完成させました。

12月18日(日)

音楽と波音が
旅情をそとる

洋上コンサートが鳥羽伊良湖航路のフェリー船内で行われ、約100名が参加しました。航路活性化を目的に、伊良湖発・鳥羽発の2便で行われたこのイベント。観客は、ゆったりと波に揺られながら、船内に響き渡る吹奏楽の音色に聴き入りました。

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●地球温暖化防止の取り組み

毎日の暮らしの中で省エネ行動などに取り組む「たはらエコチャレンジ宣言取り組みアイデア」と「省エネ普及啓発ポスター」の優秀作品を決定し、昨年12月26日に表彰式を開催しました。入賞者（大賞および最優秀賞のみ）は以下のとおりです。※敬称略・順不同

◆たはらエコチャレンジ宣言

エコチャレンジ大賞

●個人・団体・グループの部

伊藤徹（田原町）

『30度でもエアコンを使用しないで暮らせる体にする』をテーマに、室温を上げないように工夫

●学校・事業所の部

㈱サンワ産業（緑が浜）

『節電への企業努力』をテーマに、電力需要のピークとなる7月から9月までの電気使用量を、1日あたり35・44kWh削減

省エネ普及啓発ポスター最優秀作品



中学校・高校の部
小谷真依子さん
東部中学校2年



小学校高学年の部
森下風香さん
中山小学校6年



小学校低学年の部
大河 藍さん
六連小学校2年

※啓発ポスター入賞者の作品などを、市ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1708人・事業所80か所(12月末現在)

▼たはらエコ・ガーデンシティ地域
協議会事務局(エコエネ推進室内)

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



●アルミ缶

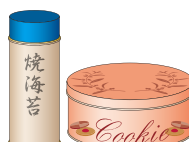


●スチール缶

缶を分けよう
缶には、アルミ缶とスチール缶の2種類あり、それぞれマークが付いています。マークをよく見て分けてください。



●食用油・缶詰などの缶



●お菓子などの缶



●その他の缶

※中身が飲料類以外



●スプレー缶

◆こんな缶も出せます

皆さんは、缶でリサイクルできるのは飲料用のものだけだと思っていませんか？今回は缶をゴミステーションへ出すときのポイントなどについてお知らせします。



◆缶を出すときのポイント

◆異物を取り除き中を空にする

◆すすいだ後は乾かす

◆スプレー缶には穴をあける

※穴をあけるとときは
残留ガスなどに気を付け、屋外で行いましょう

◆ボトル缶は、ふたも一緒に出す

※ふたは必ずして出しましょう

◆ゴミステーションでは

必ず缶を袋などから出して、スチール缶とアルミ缶を、それぞれのコンテナに入れてください。

缶に付いているマークを良く見て、リサイクルにご協力ください。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180



省資源とリサイクル

けいじばん 45

ゴミゴミとリサイクルランジャー

交 流 通 信

【国内外との交流・多文化共生】

在住外国人のための『生活ガイドブック』

外国の方が田原市での生活に必要な情報を集めた冊子をご紹介します！

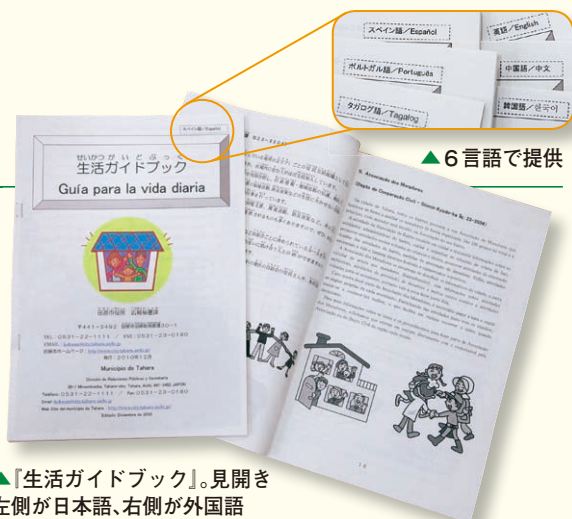
●6言語で外国の方に生活情報を提供

外国の方の生活をサポートするための情報を集めた『生活ガイドブック』は、英語・中国語・韓国語版を配布していました。今回、スペイン語・ポルトガル語・タガログ語版の3種類が新たに加わり、計6言語で提供できるようになりました。



●市役所などで配布しています

『生活ガイドブック』は、外国の方の転入時などに配布している「ウェルカムキット※」のひとつとして、お配りします。必要な方には随時の配布もします。皆さんの周りの方に



▲6言語で提供

▲『生活ガイドブック』。見開き
左側が日本語、右側が外国語

も、ぜひご紹介ください。

※ウェルカムキット…生活情報冊子などを集めたもの。田原市勢ミニ要覧、ごみカレンダー、防災マップなどのセット。

●配布場所

広報秘書課、市民課、渥美支所市民生活課
中央図書館、赤羽根図書館、渥美図書館
(市ホームページからもダウンロード可)

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

▶広報秘書課 ☎ 22局0138

◆なぜ設置が必要なの？
住宅火災による死者数が急増しており、犠牲者の半数以上が高齢者です。また、犠牲者の約6割が逃げ遅れによるものです。火災の発生に少しでも早く気付くことで、助かる可能性が高くなります。



◆住宅用火災警報器とは？
火災によって発生する煙を自動的に感知し、警報ブザーや音声で火災発生を知らせるものです。電池タイプと家庭用の電源を使うタイプがあります。

◆どこに設置するの？
皆さんは、住宅用火災警報器を設置していますか。今回は、住宅用火災警報器をご紹介します。
「煙式」の住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。
皆さんは、住宅用火災警報器を設置していますか。今回は、住宅用火災警報器をご紹介します。

みんなで取り組む防災・減災
防災知恵袋
9
住宅用火災警報器を設置していますか？



◆設置後は定期的に点検を
・定期的に動作確認をしましょう。
・機器の交換は10年がめどです。
・電池タイプの警報器は、電池切れにご注意ください。
※消防署や市役所が、訪問販売することはありません。悪質な訪問販売などにご注意ください。

▼防災対策課 ☎ 23局3548



◆どこで購入できるの？
・台所内の天井または壁
・寝室がある階の階段踊り場の天井または壁
・台所内の天井または壁
・どこで購入できるの？
防災機器販売店、家電量販店、ホームセンターなどで取り扱っています。

◆どこに設置するの？
・寝室や子どもが就寝する部屋などの天井または壁
・寝室がある階の階段踊り場の天井または壁
・台所内の天井または壁
・どこで購入できるの？
防災機器販売店、家電量販店、ホームセンターなどで取り扱っています。



募集

WANTED

田原市嘱託員

●埋蔵文化財調査員

▼募集人員Ⅱ1名 ▼対象Ⅱ大学または大学院において日本考古学を修め、博物館学芸員資格を有する方で、発掘調査、調査報告書の執筆などの実績がある方 ▼採用期間Ⅱ4月1日～平成25年3月31日 ▼勤務場所Ⅱ吉胡貝塚史跡公園・成章高校赤羽根校舎跡ほか ▼勤務内容Ⅱ埋蔵文化財の整理・調査・報告書作成、普及事業補助 ▼勤務形態Ⅱ原則月～金曜日／午前8時30分～午後4時30分 ▼報酬Ⅱ月額20万円 ▼選考方

法Ⅱ面接・実技（詳細は後日連絡）

●町史編さん員

▼募集人員Ⅱ1名 ▼対象Ⅱ大学などにおいて歴史学を修め、自治体史、歴史資料の編集・整理の実績がある方、または同等の能力を有する方 ▼採用期間Ⅱ4月1日～平成25年3月31日 ▼勤務場所Ⅱ赤羽根文化会館ほか ▼勤務内容Ⅱ歴史資料の収集・整理及び田原史・赤羽根史（現代編）の編集 ▼勤務形態Ⅱ原則月～金曜日／午前8時30分～午後4時30分 ▼報酬Ⅱ月額20万円 ▼選考方法Ⅱ面接（詳細は後日連絡）

●共通事項

▼申し込みⅡ2月27日（月）までに文化財課にある履歴書に必要事項を記入し、実績を示す資料を添付のうえ提出／土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分（郵送の場合は必着）

▼文化財課

☎23局3635 FAX22局3811

田原市臨時職員

●小学校教育活動支援員

▼募集人員Ⅱ若干名 ▼対象Ⅱ健康で、児童の教育活動を支援できる方（資格不要） ▼採用期間Ⅱ4月

1日～平成25年3月31日 ▼勤務場所Ⅱ市内小学校 ▼勤務内容Ⅱ教育活動の補助、児童の生活支援

▼勤務形態Ⅱ月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後3時30分（週16時間程度） ▼賃金Ⅱ時給1000円 ▼選考方法Ⅱ面接（詳細は後日連絡） ▼申し込みⅡ2月14日（火）までに学校教育課にある申込用紙に必要事項を記入のうえ提出（郵送不可）

▼学校教育課

☎23局3679 FAX22局3811

●小学校英語指導助手

▼募集人員Ⅱ若干名 ▼対象Ⅱ英語が堪能で、児童の英語活動を支援できる方 ▼採用期間Ⅱ4月1日～平成25年3月31日 ▼勤務内容Ⅱ市内の小学校（1～4校）を巡回し、英語活動の指導助手として授業を支援 ▼勤務形態Ⅱ応相談



▼賃金Ⅱ時給2000円 ▼選考方法Ⅱ面接（詳細は後日連絡） ▼申し込みⅡ2月17日（金）までに学校教育課にある申込用紙に必要事項を記入のうえ提出（郵送不可）

▼学校教育課

☎23局3679 FAX22局3811

愛知県消費生活モニター

消費者行政に関する意見・要望などを寄せいただく消費生活モニターを募集します。

【モニターの主な仕事】

①日常生活の中で危険と思われる商品・不当な表示・悪質商法・生活必需品の価格動向などの観察・通報 ②調査・アンケートへの回答（年3回程度） ③生活必需品などの需給・価格調査 ④消費者行政に関する意見・要望の提出 ⑤地域・周囲などへの消費生活に関する情報の提供 ⑥研修会（年1回の予定）への出席

▼募集人員Ⅱ400名 ▼対象Ⅱ満20歳以上の愛知県内在住者（公職者を除く） ▼任期Ⅱ4月の依頼日～平成25年3月31日 ▼謝礼Ⅱ年額4500円（予定） ▼申し込みⅡ2月16日（木）までに商工観光課または東三河県民生活プラザにある申込用紙（県ホームページからもダウンロード可）に必要事項を記入し提出 ▼東三河県民生活プラザ ☎（0532）52局7337 <http://www.pref.aichi.jp/keimin/shohiseikatsu/monitor/> ▼商工観光課 ☎23局3522

認知症県民フォーラムin豊橋 2012

▼対象〓どなたでも ▼日時〓2月7日(火) 午後1時30分～4時
▼場所〓ライフポートとよはし中ホール ▼内容〓講演「認知症と地域づくり」▼講師〓国立長寿医療研究センター内科総合診療部長 遠藤英俊氏 ▼定員〓250名(先着順) ▼参加料〓無料 ▼申し込み〓2月6日(月) までに電話・FAXにて(FAXの場合は、住所・氏名・電話番号を明記)

▼愛知県健康福祉部高齢福祉課
☎(052)954局6310
FAX(052)954局6919

生活

華山会新春美術展

(財)華山会では、画家や書家として大成を極めた郷土の偉人、渡辺華山の偉業を後世に伝え、地域の芸術文化の振興を図ることを目的に、新春美術展を開催します。

▼日時〓2月15日(水)～19日(日)

午前9時～午後4時30分
15日(水)は午前10時～
オープニングイベントあり
▼場所〓華山会館
▼内容〓絵画・書・古美術品などを展示 ▼観覧料〓無料 ▼後援〓田原市教育委員会・田原市文化協会
▼(財)華山会 ☎22局1700



第8回農畜産物フェア

「行かまい、食べまい、田原の味覚」

今年も、渥美半島の新鮮で安全な農畜産物の即売を中心とした、地元農業者の皆さんによる地域農畜産物のPRイベントを開催します。ぜひお越しください。



▼日時〓2月5日(日) 午前10時～午後2時 ▼場所〓サンテパルクたはら サンテドーム内 ▼内容〓農畜産物の即売、鉢花アレンジ、風づくり、餅つき、地元農産物を使った大鍋コーナー、各種模擬店、イベント、子ども向けゲーム、農畜産物加工品販売など

▼農業者のつどい実行委員会
(東三河農林水産事務所田原農業改良普及課内)
☎22局0381

教員免許状をお持ちの方は 教員免許の更新が必要です

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、現在、教員免許更新制が実施されています。今後、教壇に立つ見込みのある方は、生年月日に応じて修了確認が必要です。



免許の期限は、文部科学省ホームページで確認することができます。教員免許更新講習が必要な方は、申し込みや確認申請の手順などについて愛知県教育委員会ホームページでご確認ください。

◆文部科学省ホームページ

HP http://www.mext.go.jp/a_menu/shoutou/koushin/003/index.htm

◆愛知県教育委員会ホームページ

HP <http://www.pref.aichi.jp/0000023795.html>

▼愛知県教育委員会教職員課教員免許グループ
☎(052)954局6772

司法書士による電話相談 「相続110番」(無料)

▼日時〓2月4日(土) 午前10時～午後3時 ▼内容〓相続、遺言、成年後見などに関するご相談に司法書士が電話でお答えします

☎電話番号〓32局02885(当日限り)
▼愛知県司法書士会豊橋支部
☎(0532)58局9951

毎年2月7日は「北方領土の日」です

「北方領土の日」は、北方領土問題に対する国民の関心と理解をさらに深め、北方領土返還要求運動の全国的な盛り上がりを図るために1981年(昭和56年)1月6日に設けられました。「北方領土の日」には、東京で「北方領土返還要求全国大会」が、内閣総理大臣や各政党の代表、元島民、返還運動関係者などの出席のもとに開催されるのを始め、この日を中心にして全国各地で多彩な行事が行われています。

▶総務課 ☎23局3506 FAX 23局0180



歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
130



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

2つの観光パンフレットから

田原市博物館に『常春の国』と『IRAKO』というタイトルの観光パンフレットが収蔵されています。これらは、現在の豊橋鉄道(株)が渥美半島の観光名所を紹介したもので、半島の地図と、おすすめの観光地や写真が掲載されています。

『常春の国』は、伊良湖港や伊良湖から石門までの道路、田原温泉の表示がないことから、昭和26年ごろのものだと推測されます。また『IRAKO』は、印刷された社名や田



▲『常春の国 渥美半島 御案内』パンフレット(部分) 表2色、裏1色

原郷土博物館(現在二の丸槽)が書かれていないことから、昭和29年7月から昭和33年までの間に発行されたものと考えられます。『常春の国』から『IRAKO』とこうキャッチコピーに代わっているのが、渥美半島の観光は、伊良湖岬周辺を中心に展開しようとしたことがわかります。

『IRAKO』のパンフレットには、ガイドが同乗した周遊の観光バスが毎日運行されていたことも記され、

自家用車が普及していない時代の観光地「伊良湖」の戦略がよくわかります。海水浴場は、片浜や馬草、弁財ヶ浜(折立町)にありましたが、現在ではここに記された海水浴場は残っていません。ハ

イキングコースや釣場、そこで釣れる魚種も記され、常春の国の言葉に代表される渥美半島にしかない自然の景観や恵み、歴史を楽しむ観光が狙いだったようです。

●主な観光施設のオープンなど

- 昭和36年…渥美フラワーセンター(伊良湖フラワーパーク) ※H17年閉園
- 昭和37年…シーサイドゴルフクラブ
- 昭和38年…伊良湖鳥羽間フェリー就航
- 昭和39年…蔵王山展望台
- 昭和41年…伊良湖海水浴場
- 昭和43年…伊良湖ビューホテル
- 昭和45年…伊良湖港湾センター

このように、時代の要望にあわせて施設の整備が進み、観光の戦略が大きく変わってきたことがわかります。



▲『IRAKO 渥美半島』パンフレット(部分) カラー印刷

す。これらを機に、渥美半島への観光客は、昭和の終わりごろまで増え続けました。

このパンフレットから、渥美半島の観光の原点を見た気がします。(増山)

今月の「表紙」

▼伊良湖神社で大晦日から元旦にかけて行われる火祭り、「ごせんだらまつり」。昔から豊漁や無病息災などを祈ってきたのだそうです。男たちが燃え上がる炎を飛び越えるクライマックスは大迫力。私もカメラを構えながら、飛び散る火の粉を浴び、今年の平安を祈りました。(〇)

【表紙の写真】ごせんだらまつり(伊良湖神社)